

## 故郷の新しい風会議とは

国を良くしようとする若手国家公務員と、同じく国や地域を良くしようと行動する我々YEGメンバーの情報交換の場。

霞が関の机上の空論ではなく、全国各地の商工業者の生きた意見を聞きたい。  
我々青年経済人の斬新なアイデアや活動を聞いて欲しい。  
壁を取り払って風通しを良くしたいという思いから、平成18年に経済産業省の国家公務員と日本YEGのメンバーが始めた居酒屋会議が始まり。  
正式には、平成19年度に日本商工会議所青年部の『故郷の新しい風会議』として始まった事業であります。

## 風会議の趣旨

『故郷の新しい風会議』は、官と民の意見を議論する場がない！場が欲しい！！という思いから、官民一体型の意見交換の場として日本YEGから始まりました。中央（官）から地方（民）に風が送られてくるばかりではなく、地方からも風を送り返して、お互いの風通しを良くし地域や日本の活性化を図ることを趣旨とする。

## 故郷の新しい風会議を開催する目的

『故郷の新しい風会議』を通じて各地域の経済活性化に繋げ、我々青年経済人が、地域や日本の活性化を図り、自企業の経営・運営にも役立てる事を目的とする。

## 平成24年度の取り組み

今年は、年12回(約月1回)を全国各地で実施しました。  
この風会議に参加していただくことで綱領・指針の『地域を支える青年経済人として先導者たる気概で研鑽に努めよう』を實踐できると信じております。  
本事業はアンケート調査の結果から、日本YEGの事業の中でも大変高い評価をいただいている事業です。  
また今後は、道府県連単位で「熱ある青年経済人」と「熱ある若手道府県職員」、また単会単位で「熱ある青年経済人」と「熱ある若手市職員」による風会議の地方版を開催して新たな事業にしていきたいです。